

自分らしい生き方応援します!

問い合わせ先
男女共同参画推進室

【超高齢化社会を支える男女協働参画の営み】

色々大変なことはあるけれど、「自分の心に耳を傾け家族・友人と上手くコミュニケーションをとりながら、自分らしい生き方を学んでいこう!」と、菊池市女性団体代表者会において研修会を開催します。

みんなで一緒に学び、気づきましょう!

と き 平成 22 年 1 月 23 日 (土)
午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時 30 分

ところ 菊池市中央公民館 2 階大研修室

講師 和田 要さん

(熊本学園大学社会福祉学部社会福祉学科第一部社会福祉学科長)

演 題 「超高齢化社会を支える男女協働参画の営み」 ~社会福祉の視点から考える~自分らしい生き方って?

その他 ・ 入場無料
・ 無料託児有 (事前予約必要)
・ どなたでも参加できます。

ひとりで悩んでいませんか?

男女共同参画の推進や、性別による差別などの悩みをお持ちの人、ぜひご利用ください。あなたのお悩みに専門委員 (弁護士・カウンセラー) が適切に対処します。

相談内容

市が実施する施策で男女共同参画の推進を阻害すると思われる施策についての苦情・要望、夫や妻など、親しい間柄の人からの暴力に悩んでいるまたは性別による不当な差別や嫌がらせを受けているなど

※判決や裁判などにより確定または係争中の事案については調査しません。

相談日 毎月第 3 金曜日
午後 1 時 30 分 ~ 午後 4 時 30 分

相談場所 菊池市中央公民館 2 階会議室
事前に、日程時間の予約、申出書の提出が必要となります。詳しくは、広報さくち 5 月号 19 ページをご覧ください。

花房台地の地層は語る(その2)

前川の不整合は語る
先月号に続いて花房台地のでき方を物語る「前川」の地層を紹介しよう。

ホタルや美味しい湧き水で有名な前川水源を通って、花房台地の老人ホーム「清泉」へ向かう途中、坂の右手に地層がむき出しになっているところがある。前川水源の周囲の崖は阿蘇 3 火砕流堆積物の溶結したもので、平地でこれほど阿蘇 3 の溶結したものを見ることは珍しい。そこから老人ホーム「清泉」へ向かう途中の右手に見られる成層した地層は、一見同一の一連のものに見えるが、よく見ると不整合が見られる。この露頭は、花房層と林原層の不整合である。普通、花房台地では、下から阿蘇 3 火砕流、花房層 (湖水層)、阿蘇 4 火砕流、林原層 (湖水層)、赤ボク、黒ボクの順で見られる。しかし、前川では、阿蘇 4 が抜けている。つまり、阿蘇 4 火砕流の堆積後、花房台地は一旦地表に現れ、その後流水の浸食により阿蘇 4 が欠落し、その



林原層
不整合
花房層

後また湖水の中で砂礫が堆積する環境が生まれている。花房台地が水中にあり、地表に出たり、また湖水の中に沈んだりして、変化しているのである。この花房台地が水平な台地に見えるのは、花房台地が水の中で水平堆積によってできたことを物語っている。

(文責) 熊本地学云員 中原 英

古代湖「茂賀の浦」と菊池

人権同和教育シリーズ⑤ 熊本県立菊池農業高等学校 畜産科学科 2 年 古閑裕也

「生命」= (イコール)

「先生、先生、先生。牛が生まれています。」

私が当番中に起きた出来事である。牛舎に入りすぐに気が付いた。たった今、生まれたばかりの子牛が、母牛の横で力をふりしぼり懸命に立とうとしていた。すぐに先生もかけつけ、濡れた体を寝ワラやバスタオルを使い丁寧に拭いた。母子ともに異常は見られなかった。しかし、ホツとした反面、残念に思ったのは、生まれてきたのが雄の子牛だったこと。乳牛として飼育しているホルスタインは、雄の子牛は乳を搾れないため肉牛として育成される。せっかく母牛が苦勞して産んだ小さな命が、人間の都合で道が決められる。この時、新たな生命の誕生に出会うことができたにも係わらず、素直に喜べないものかしさを感じる私がそこにいたのだ。

私たちは授業や実習を通して「生命」について身近に触れることができる。その中で私が最も印象に残っていることがある。それは自分たちが飼育してきた鶏を自分の手で解体していく実習だ。先生の慣れた手つきでナイフが鶏の口の中を切ると、鮮やかな赤い血が勢いよく流れだし、みるみるうちに弱っていくのが分かった。その瞬間、みんな息を飲んだ。中には目を背ける者や涙する者もいた。普段、何気なく口にしている鶏肉が、このような形で解体され「生命」が失われていると思うと、自分のナイフを持つ手が震えたのをはっきりと覚えている。しかし、私はこれも「生命」について学ぶ者の責任だと感じ、ナイフを片手に鶏のノドを切った。私自身が「生命」を殺したのだ。自分のなかで何かが弾けそうなの、何か、もやもやしたわだかまりが残りつつ、実習を終えた。

「生命」とは何なのだろう。「生きる」とは何なのだろう。いのちに触れ、自らの「生きる」を考えたときに、キラキラと輝いた宝石を思わせる。終わりを告げるその時まで、一握りの希望を目指し、必死に輝き続け

るのが「生命」だと感じる。自分の意見として漠然と思いついてはいるけれど、本当にそうなのだろうか。

近年、ますます増加する自殺者の数。なぜ、そのようなことがあるのか、生きたくても生きられない「生命」もあるというのだ。

「生きる」とは何だろうか。私の疑問には答えが見つかりそうにない。もしかしたら答えなど存在しないのかも知れない。しかし、私たちは生きていく。毎日「生命」を輝かせている。

「生命」は、= (イコール)。それは、自分自身で感じるものだと私は思う。私の体験を通じて感じたこと。私は恐れずに言いたい。命を終らせる人や、輝かせていない人へ。「生きてください。自分の光が消えるまで。生きてください」そして、皆さんへ。「生きましょう。精一杯。これでもかというくらい精一杯生きましょう」

菊池市内無形民俗文化能行事を「賢く」味わおう!

菊池市内には囃子や神楽、獅子舞、太鼓などの民俗文化能が数多く保存伝承されています。そのなかから今回は住吉日吉神社神楽と禊方神楽を紹介いたします。

住吉日吉神社神楽 (住吉)
泗水で最も古い歴史があると言われる住吉日吉神社ですが、ここで奉納される神楽は残された記録によれば地域の大きな支援によって明治 39 年に始められており、8 座で構成されています。発足には日吉神社宮司の指導と、湯舟神楽の協力もあつた

○住吉日吉神社大祭奉納
と き 12 月 18 日 (金)
午前 11 時ごろ
ところ 住吉日吉神社
禊方神楽 (禊方)
10 座で構成される神楽は菅原神社での奉納はもとより、菊池神社の春季、秋季大祭でも例年奉納されています。
と き 12 月 20 日 (日) には、禊方の民俗行事である「嫁取り祭り」も行われるなど、歴史ある芸能行事が引き継がれている地域です。



○禊方菅原神社例祭奉納
と き 12 月 21 日 (月)
午後 6 時ごろ
ところ 禊方菅原神社
問い合わせ先
生涯学習課文化振興係

わいふ一番館だより
問い合わせ先 わいふ一番館 ☎ (24) 6630

写友さくら 写真展「彩」
写友さくら 鶴長広志
期間: 12 月 8 日 (火) ~ 平成 22 年 1 月 17 日 (日)
季節ごとに違う表情をみせる景色を見て、感じたとおりに撮った作品を集めました。ぜひご覧ください。

平成 21 年度第 2 回企画展 (まちかど資料館)
中村健一郎画伯遺作展 (キュビズムへの道)
期間: 10 月 25 日 (日) ~ 平成 22 年 3 月下旬

菊池夢美術館情報
問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎ (23) 1155

第 5 回「夫婦の手紙・絵手紙」作品展
期間: 11 月 22 日 (日) ~ 12 月 31 日 (木)

全国から応募された全作品を展示します。作品に込められた思いをご覧ください。

平成 22 年 6 月までのギャラリー展示を受けています。
休館日 12 月 30 日 (水)
開館時間 午前 9 時 ~ 午後 5 時 30 分
※ 12 月は閉館時間が早くなりますので、ご注意ください。